

在シドニー総領事通信

第 52 回 日・NSW 州協力の新時代へ

令和 3 年（2021 年）11 月 26 日

先週、日本と NSW 州の協力の新たな時代が始まりました。11 月 19 日、在豪州日本国大使館主催の第 5 回日豪インフラ・ネットワーキング会合がシドニーで開催され、同日ペロテーNSW 州首相と山上駐豪大使の初会談も行われました。

これらの場で、西シドニー開発や水素・脱炭素をはじめ、日・NSW 州の今後の協力推進に向けて多くの構想が共有されました。今回の総領事通信では、これらの進展について皆様にご紹介し、これから新たな時代をどのように築いていくべきか、皆様と一緒に考えていきたいと思います。



日豪インフラ・ネットワーキング会合での山上駐豪大使基調講演
(2021 年 11 月 19 日、於 PwC シドニー事務所)

●第5回日豪インフラ・ネットワーキング会合

日豪インフラ・ネットワーキング会合は、日豪インフラ関連企業の連携強化のために、在豪州日本国大使館の主催で2016年から開催されています。前回の[第4回会合](#)は昨年3月にシドニーで開催され、100名以上が参加しました。その直後からコロナで対面行事の開催が困難になりましたが、幸い先月ロックダウンが解除されたので、11月19日の第5回会合は約100名がシドニーの会場で参加し、更に日本をはじめ各地からオンラインで約100名参加する大盛況となりました！

今回の会合では「西シドニー開発」を主要テーマに取り上げました。山上駐豪大使は[基調講演](#)で、日本企業に向けて豪州のインフラ投資先としての魅力を訴え、豪州企業に向けて日本企業の技術力・資金力をアピールしました。そして、スマートシティなど西シドニー開発への更なる日本企業の参画が進み、高速鉄道など豪州各地における日豪インフラ協力が実現することへの期待を表明しました。

豪側からはアダムス駐日豪州大使がオンラインで講演し、2050年のネットゼロに向けての協力をはじめ、インフラ分野での日豪協力の可能性の大きさを強調しました。更にエアーズ NSW 州雇用・投資・観光・西シドニー大臣の基調講演では、同日行われたモリソン首相とペロテール州首相の西シドニー新空港旅客ターミナル建設予定地視察について紹介しつつ、西シドニー開発への日本企業の参画を大いに歓迎する旨述べました。

引き続き、日本企業から三井住友銀行、NSW 州政府から西部パークランドシティ開発公社とシドニー大都市圏委員会、日本政府から JETRO と UR 都市機構によるプレゼンテーションと質疑応答が夕刻まで行われ、盛り沢山の内容でした。

昼食や休憩時間は、出席者間のネットワーキングのために十分な時間が取られました。私もこの機会を活用して、例えば豪州の地方自治体のゼロエミッション移行を支援している日本企業の関係者を、旧知の西シドニー地方自治体連合の関係者に紹介することができました。このような「お見合い」は、日豪間のビジネスを発展させる上で大変有用と感じました。



日豪インフラ・ネットワーキング会合での紀谷総領事閉会挨拶
(2021 年 11 月 19 日、PwC シドニー事務所)

私からは閉会挨拶で、付加価値を創造する担い手となるビジネス関係者、コロナ対策やインフラ開発に目覚ましいリーダーシップを発揮している豪州・NSW 州政府関係者、今回の会合準備に尽力した大使館・KPMG・PwC・AJBCC など官民関係機関のチームに対する心からの謝意を伝えました。そして私自身、シドニーにおける NSW 州政府、日本企業と日本政府のコンタクトポイントとなり最大限努力する決意を表明しました。

西シドニー開発のように更地から数十年かけて大規模開発を行うインフラ事業では官民の連携が鍵であり、そこに日本が参画し貢献するには、「日豪双方の官民」という 4 アクターの緊密な連携が不可欠です。今回の会合を準備したチームは、各アクターが直面する課題や「情報ギャップ」を熟知し、日豪・官民の講演・発表の構成や内容を工夫することで、1 日の会合で相互理解を深め、更なる協力への基盤とネットワークを構築することに成功したと思います。

2026 年の西シドニー空港開港に向けて、これから各種調達手続が本格化します。今回の会合を契機に、より多くの日本企業が自らの技術力と資金力を生かして新都市のスマートインフラ構築に貢献できるよう願っています。



山上駐豪州日本国大使、ペロテーNSW 州首相と私
(2021 年 11 月 19 日、於 NSW 州議事堂首相執務室)

●ペロテー首相と山上大使の会談

同日、ペロテーNSW 州首相と山上駐豪大使の初会談も行われました。山上大使は昨年 12 月の着任後、本年 5 月の NSW 州公式訪問の際にベレジクリアン州首相（当時）と会談しました。今回、ペロテー州首相の就任から間もないこの時期に山上大使との初会談が実現し、私も同席しました。

日本と NSW 州は深い関係にあります。NSW 州にとって日本は第 2 位の貿易相手、第 1 位の輸出先で、近点は M&A を含む直接投資も増加しています。また、NSW 州には約 230 もの日本企業が進出し、日系 3 大メガバンクの全てが豪州本社をシドニーに置き、日本の主要 ICT 企業も州政府にサービスを提供しています。シドニー大都市圏開発では、NSW 州政府は日本の 6 企業・団体と協力覚書（MOU）を締結しています。NSW 州内の日本食レストランも 1,500 以上と豪州最多です。コロナ前までは日本からの旅行客も右肩上がりで、2019 年には約 20 万人がシドニーを訪問していました。また、NSW 州は東京都と姉妹都市です。

山上大使はペロテー首相と、コロナ後の日豪間の往来再開を見据えて、今回のインフラ会合も踏まえ、西シドニー開発や高速鉄道、水素など日・NSW 州間の経済関係の強化を中心に、有意義な意見交換を行いました。今後、私もシドニーでフォローアップに取り組む所存です。

New opportunities in critical minerals in Australia

Nichi-Go Global x J-Bridge webinar

Thursday 2 December from 4pm AEDT / 2pm JST



Nichi-Go Global × J-Bridge ウェビナー「豪州における重要鉱物の新たなビジネス機会」(2021 年 12 月 2 日開催予定)

●Nichi-Go Global × J-Bridge ウェビナーの立ち上げ

日本と NSW 州双方の経済と社会に大きなインパクトをもたらし得る新たな分野は、スタートアップ・イノベーション協力です。これを推進するために、NSW 州投資庁、JETRO、在シドニー日本国総領事館は豪日経済委員会 (AJBCC) とイノベーション道場の協力を受けて、Nichi-Go Global を新たに立ち上げることとなりました。これは、革新的でユニークかつ有望な豪州スタートアップ／スケールアップ企業を日本企業と結びつける取組です。日本企業と海外企業の協業・連携を促進するために先般 JETRO が立ち上げた [J-Bridge](#) と連携します。

12 月 2 日 (木) に開催する [第 1 回 Nichi-Go Global × J-Bridge ウェビナー](#) では、脱炭素社会実現に向けて、NSW 州の重要鉱物関連企業を紹介します。世界のサプライチェーンがカーボン・ニュートラルに移行するためには、重要鉱物の戦略的な確保と加工・精製能力の構築が不可欠です。NSW 州を拠点とする 3 社の CEO が、日本企業とのビジネス機会について説明を行います。

今後も、有望な NSW 州スタートアップ／スケールアップ企業を厳選してテーマ別に紹介するウェビナーを数か月毎に開催しながら、他州政府の支援を得て全豪に拡大することを視野に入れています。ご期待ください。



Cathedral Street のジャカラランダとシドニータワー（2021 年 11 月 6 日）

●日・NSW 州協力の新時代に向けて

NSW 州では、本年 10 月のペロテー首相の就任後、コロナ後のビジネス再開に向けての動きが加速しています。その中で、シドニーで第 5 回日豪インフラ・ネットワークキング会合とペロテー首相・山上大使の初会談が先週開催されたことで、日本と NSW 州の協力関係は新たな段階に入ったと感じています。

西シドニー開発・シドニー大都市圏開発、水素・脱炭素、重要鉱物、スタートアップ・イノベーションをはじめ、日本と NSW 州には新たな協力の可能性があふれています。それを現実化するのは、幅広い分野でビジネスを担う日豪双方の企業の皆様であり、それを後押しするのは日豪双方の政府の役割です。日豪・官民の 4 アクターの緊密な連携により、この新時代に様々な協力事業を私たちの手で創り上げていくよう、今後とも最大限努力していきたいと思えます。

在シドニー日本国総領事 紀谷昌彦

（以上）